

8-3-6 報酬のあり方検討WG

1. WGの概要

(1) 活動目的

報酬のあり方検討WGは、建設コンサルタント業界の報酬・積算体系の問題点・課題を整理するとともに、新たな報酬・積算のあり方について検討することを目的としている。

また、検討成果は、関係委員会との意見交換会や未来塾等を通じて、発注者へ改善提案を行う。

令和5年度は、A/P方式、SIB方式の聞き取りを行うとともに、新たな報酬のあり方についての提言(案)を作成した。

(2) WGメンバーの構成

WGは、以下の構成メンバーである。

WG長：(株)建設技術研究所 杉本 龍志

委員：(株)復建エンジニアリング 戸田 秀夫

日本工営(株) 吉原 信幸

(株)建設技術研究所 高倉 逸朗

(5月退任)

日本工営(株) 熊坂 徹也 (6月～)

大日本ダイヤコンサルタント(株)

山野 郁也 (6月退任)

大日本ダイヤコンサルタント(株)

石井 貴朗 (7月～)

2. 主な活動報告

(1) WGの開催

WGは、企画委員会の開催等に合わせて、以下の日程で計10回行った。

- ① 令和5年4月25日
- ② 令和5年5月23日
- ③ 令和5年6月27日
- ④ 令和5年7月19日
- ⑤ 令和5年9月21日
- ⑥ 令和5年10月19日
- ⑦ 令和5年11月21日
- ⑧ 令和5年12月19日
- ⑨ 令和6年1月23日
- ⑩ 令和6年2月21日

さらに、令和5年7月12日インフロニア・ホールディングス(株)からA/P方式の現状を、同年8月4日前橋市からSIB方式の評価について、それぞれ聞き取りを行った。

(2) 検討内容

a) 新たな成果報酬プロジェクトの現地取材

以下の方式を採用するプロジェクトについて現地取材等を行った。

- ・アベイラビリティ・ペイメント(A/P)方式
- ・ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)方式

b) 提言(案)の作成

2019年度からの議論及び新たな成果報酬プロジェクトの現地取材結果を踏まえて、「建設コンサルタントの新たな報酬の在り方への提言(案)」を作成した。

3. 検討内容の概要

検討した内容の概要を以下に示す。

(1) 新たな成果報酬プロジェクトの現地取材

愛知道路コンセッション関連企業(インフロニア・ホールディングス(株))とA/P方式についての意見交換、及び前橋市へのSIB方式採用プロジェクトの現地取材による情報収集を行った。

(2) 提言(案)の作成

提言(案)の関連内容についてマネジメントシステム委員長と意見交換した。また、提言(案)について、企画部会長の査読を受け、それに基づき提言書(案)を修正した。

4. 次年度の活動について

次年度は以下について活動する予定である。

(1) 指標連動・成果連動方式を導入したプロジェクト等の追加取材

新たに国内で展開するA/P方式、PFS方式、SIB方式の指標連動・成果連動方式の取材

(2) 新たな報酬の在り方への提言(案)の修正

2023年度に作成した提言書(案)のリバイス

(3) 品確法第18条等に係る研究

品確法の改正提案を目指した、価格等の交渉に係る品確法第18条等の研究

(報酬の在り方検討WG WG長 杉本 龍志)